

科目名	北米社会と情報	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	阿部 聡		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-470001	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	海外夏期セミナーにおける授業科目の1つである。デジタルコンテンツ作成現場の見学やプログラミング担当者の講義などを通して、北米社会における最新の情報関連技術動向・ビジネス動向、それらを取りまく社会動向の理解を深める。授業の理解を深めるため、現地への出発前に授業内容の概要の事前学習・研修を行う。事前学習・研修は「情報英語」と同一になっている。				
学修到達目標	北米社会における最新の情報関連技術動向・ビジネス動向、それらを取りまく社会動向、多文化社会の理解するための情報収集とその活用方法を身につける				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	オリエンテーション：カナダ夏期セミナー概要説明（日程・費用など）
第2回	渡航準備：旅行会社航空券の予約開始、パスポート取得方法説明、ビザ取得用クレジットカード作成の説明
第3回	渡航前書類の説明：学内書類（誓約書、奨学金交付願、保護者宛文書）の説明、配布

第4回	グループワーク：カナダ渡航の目的
第5回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（調査）・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション事前準備
第6回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（発表）・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション事前準備
第7回	グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（講義）・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション事前準備
第8回	渡航準備：ホームステイ申込書作成・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション事前準備
第9回	渡航準備：eTA申請（説明：実際の申し込みは個人で行う）・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション事前準備
第10回	渡航準備：フライト・入国の方法（税関・検疫申告書記入の練習など）
第11回	渡航準備：フライト関係説明、成田までの移動手段確認・アルバータで行う新潟紹介のプレゼンテーション発表
第12回	渡航準備：海外（留学）旅行保険学内説明会（※国際学部の4コースと合同で行われるため通常の事前研修の時間とは別の日時に開催される予定）、役割決定、研修日程表作成（報告書）
第13回	渡航準備：成田までの交通方法決定・発表 （オンラインでのプレイスメントテストについての説明：受験は各自で。時期はアルバータ大から指定される）

第14回	渡航準備：英語クラス発表、各種報告書の記入方法説明、行事確認
第15回	渡航準備：渡航当日スケジュール最終確認（プレゼンテーションの準備は、進捗状況により継続することがある）
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：毎回の課題、提出物の準備
【復習】時間・内容	1時間：事前研修の各回でフィードバックされた事項について改善に努める

成績評価	
評価基準・方法	北米社会と情報に関するレポート（帰国後提出）50%、演習（事前研修の参加・貢献）50%
フィードバック方法	プレゼンテーションの原稿、スライドについて講評を行う。帰国後のレポートについては講評を付して返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	適宜、教材を配布する。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期セミナー参加者はこの「北米社会と情報」と「情報英語」をセットで履修登録する必要がある。 ・このシラバスにある通り、毎週事前研修を行う。 ・引率教員は現地（エドモントン）を先に離れる可能性があるため、受講生には、自立、自己責任で行動できることが求められる。 ・企業訪問の準備として、ホームページや新聞・雑誌記事を事前に把握しておき、質問できるようにしておくこと。 ・訪問企業などの状況によって内容・実施日が変更になることがある。 ※必ず「情報英語」とセットで履修登録すること。また、前期授業期間中、毎週事前研修を行うので休まずに参加すること。
JABEE	